

# Akatake Times

Vol. 17  
(通算 第170号)

花粉症の方には辛い季節がやってきました。  
日本気象協会による春の花粉飛散予測(前シーズン比)によると、東海地方は240%で非常に多いとのこと。  
マスクやメガネをするなど、花粉を体に取り込まない対策が必要です！



『国宝 松本城』

我が家の子供達が歴史(戦国時代)に興味を持ち始め、“お城を見たい!”ということで昨年秋、長野県にある松本城を見学してきました。  
松本城は現存天守12城の一つで国宝でもあります。  
白色の白鷺城(姫路城)とは真逆の黒いお城であり、力強さを感じます。  
市民からは別名“烏城(からすじょう)”と呼ばれているようです。  
鉄筋コンクリートのお城ではなく木造建築のお城のため、日本古来の建築技術の素晴らしさを感じることできた一日でした。  
子供達が岐阜城にも行ってみたいと言っており、また犬山城が素晴らしいと知人から聞いたので、春になったら岐阜城、犬山城にも行ってみたいと思う今日この頃です。



撮影日時: 2016年10月29日 撮影と文: 技術部 鈴木さん



#### ◆50周年に向けて、着実に歩を進める

厳しかった冬から待ちに待った春がいよいよ近づいてくるこの時期は、  
えも云われぬ趣があるように思いますがいかがでしょうか。  
さあ、我が社は、第46期の半分を終えていよいよ下期に突入です。  
経営課題は多くありますが、一年一年ほどの歩みではありますが着実に前進していることは  
ありがたいことと感謝しています。  
会社が現在地に移転したのが平成6年3月でしたから、足かけ23年の月日が流れました。  
早いものです。  
時折、自社の外観を眺めるのですが、感慨深いものがあります。  
粉体機器事業というハイリスクな事業を展開し、幾度となく訪れた危機を社員が力を合わせ、  
くぐりぬけてきました。  
私共は、家族を守り育て、社会的貢献も多少なりとも果たしてきたと思います。  
勿論、協力会社、金融機関など私どもを取り巻く方々の協力があつたればこそ、です。  
私は、当面50周年に向けて着実に歩を進め、会社の使命を果たすべく経営課題に向かって  
進む決意です。

#### ◆いやなことは、さっさと片付けよう

以前、朝礼でもちょっと触れましたが、ラジオで流れてきた対談(誰だか  
分からないが)の中で、『“いやなことは、キライ！”だけど、さっさと片付けて  
しまうことが大事』という話がありました。  
とても印象深く今でも耳に残っています。  
私も、いやなことから遠ざかる経験は結構持っています。  
でも、遠ざかるとまたいやなことにぶつかります。  
そんなことを繰り返していると、心が折れてしまいます。  
思うに、いやな事は逃げないでさっさと片付けて、さっさと忘れてしまうことが良いかなと。  
悩まないで人に話して、心を弛緩させることも良いかなと。  
でも、私が最も大事な事と思うのは、生きる目標と指針をはっきり持つ事だと思っています。  
理念としては、人は自分一人では生きていけないと同様に他人(ひと)のために生きているとい  
うことだと考えています。  
独りよがりだと、必ず挫折が待っているでしょう。  
他人(ひと)のためにということであれば一生懸命行動するし、心豊かに幅の広い人になるでしょう。



#### ◆68歳…アレ?と思うとき

私は、今年7月で68歳。若くもないが年寄りでもない。  
体はこれといって悪いところはない。  
でも、アレ?と思うときがある。  
…車をバックで駐車するとき、なかなかまっすぐ止まれない。  
トイレのドアを開ける前からファスナーを下ろす。  
トイレのドアから出てきても、平気でハンカチで手を拭いている(見た目が…)。  
手や肩が思いがけず物に当たってしまう。  
良きにつけ悪きにつけ、何事もスピードが遅くなる。  
特に、社内報の原稿がなかなかまとまらない(言い訳)。  
恥ずかしさが少なくなってしまう。  
運転でバックに入れたつもりが前進する(問題だ)。  
…思うことは、誕生日から体づくりに励みます。



#### ◆運動・体操は、しっかりと

20年間も冷え性で悩んでいた女性たちが、血管を伸ばす運動を4~5日  
続けたら治ってしまったと、NHKの番組で放送していました。  
毎日のラジオ体操も、しっかりとやると健康維持に役立つことでしょう。

手足を伸ばして、ご安全に!



代表取締役社長 赤堀 肇紀

※ 今回のタイトルは、松尾芭蕉の弟子『服部嵐雪(はっとりらんせつ)』の詠んだ俳句です。